

研修報告

10月19日（土）ケアマネ研修

～TUNAGARU カフェに参加して～

登根 美千子

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話をし、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」とのキャッチフレーズでの研修会！

花が飾られ、お茶、お菓子が用意されたテーブルを囲み、看護師・ケアマネ・作業療法士・薬剤師などの違う職種が自己紹介。

「つながり」の言葉で連想されることを大きな模造紙にそれぞれ思いつくまま書き出して話し合いました。

まとめとして、

・「つながり」＝安心・協力

初対面は第一印象が大切なので笑顔を忘れない！

・利用者が自宅で自分らしい生活ができるように…という思いは一致しているので、それぞれが何ができる！？

・利用者を中心に協力する～ことから安心してもらう～そして信頼を得られる

現在はネット上で済んでしまうことも多いが、同じ土俵での会話の大切さを学びました。

9月29日（日）外部研修

「抱きかかえない介護」研修を受けて

吉村 香代子

ベッドから車いすへの移乗・移行、リウマチ患者の方への方法、重度介護の方への方法、器具を利用しての方法、麻痺などのある方で困難な方へのオムツ交換などを、今回わかりやすく、教えて頂きました。

介護される側をやってみて、利用者のたいへんな気持ちがわかりました。今までやっていた介護は、お互い負担があったと感じました。グローブ・ライトターン・スライドボードの使い方、移乗のやり方も色々ありとても勉強になりました。

（研修受講後、グローブ購入し、実際に利用、効果を確認）



介護ミニ知識

「サービス付き高齢者住宅」とは

- ・23年10月から国土交通省の住宅整備事業としてスタートした高齢者向け住居。介護・医療と連携し、高齢者の安心を支えるサービスを提供するバリアフリー構造の住宅。60歳以上の高齢者または要介護要支援者が対象
- ・ケアの専門家が少なくとも日中常駐、安否確認サービスと生活相談サービスを入居者に提供する。常駐していない時間は、各居住部分に必要なに応じて通報する装置を設置。
- ・その他の生活支援や介護・医療サービスの内容は様々なタイプがある。
当八千代市においても、次々と建設されています。

定例会研修の振り返り

『認知症について』

講師 勝田台包括支援センター所長
武田 信子さん

- ・急激な高齢化でそれに伴う認知症のお年寄りの増加。認知症の特徴を勉強させていただき、自分をなくしていく不安を抱えながら生活していることがわかりました。

ユマニチュードケアについて

- ・同じ目線で顔を長くみつめる
- ・やさしく丁寧な言葉で話しかける
- ・体に触れる（ハンドマッサージなど）
- ・立ってもら（支えられても立位）

（10月19日）

『医学的基礎知識』

講師 看護学校講師 上原 君江さん

- ・自分の健康、心理的（心の）変化、社会的変化によって、老化現象が現れる。自分自身の老化をよく見つめて、利用者の方にも対応したいと思いました。
- ・老人と言っても70代、80代、90代と異なる。また、高齢者は65歳～100歳、35年間、体力、気力は個人差が大きいことも勘案、比較はしないでその人に合った接し方をすることが大切。
老人は、難聴な人が多いが、声は低音でゆっくり話しかけることがよい。（11月16日）

ボランティア活動報告

びっくり出会い！

- ・“ふれあいサロン北”での出会い！1年半前からいらっしゃるMさん(91歳)最近ご利用のYさん(78歳)習志野の小学校の時の先生と生徒の間柄でした。こんな事ってあるんですね！
- ・「語らいパートナー」で特養のデイサービスを訪問し、お話を伺った方(93歳)は、なんと中学時代の先生でした。旧姓を名乗ると、名前まで覚えていて下さり、感激！感激の出会いでした。

ボランティア会員による25年度前期活動実績（H25.4～9月）

・ふれあいサロン活動会員 サロン6か所

参加ボランティア26名 延473回

・「語らいパートナー」 施設7か所・個人宅21人

参加ボランティア27名 延294回



微笑みの輪 ～ヘルパーのリレーメッセージ～

～吉村 香代子さん～

☆ユーアイやちよに入会してどのくらいですか？ …… 1年4か月

☆好きな言葉は？

毎日、日々の足跡が、おのずから人生の答えを出す（あいだみつを）

☆仕事で心がけていることは …… 笑顔と思いやり

☆利用者さんとの思い出、心に残っている言葉は

“あなたが来ると元気が出るの！ありがとう” …（こちらこそです）

☆仕事以外で楽しいことは？

友人とランチなど

次回は、**小田 静子さん** をお願いします。